

【ニュースリリース】

2008年6月18日

ハイアス・アンド・カンパニー株式会社 (HyAS&Co.)

HyAS & Co. 環境共生住宅・政府方針 200 年住宅の分野に進出

～ オーエムソーラー協会との事業提携により、省エネ・環境共生住宅の普及を促進～

ハイアス・アンド・カンパニー(株) (本社：港区白金台 代表：濱村聖一 TEL：03-5423-7333 以下、ハイアス) は、(株)オーエムソーラー協会 (本社：静岡県浜松市 代表：石原 信也 TEL：053-488-1700 以下、オーエム) と事業提携を行い、環境共生住宅の分野に進出します。

この進出により、ハイアスは、住宅の建築を検討されている方に省エネや環境共生の重要性を伝え、省エネ環境共生住宅が普及することを目的とした、新しい提案手法をマニュアルにまとめ、オーエム加盟店 200 社に配布します。加えて、加盟店の提案力を強化するための研修を行なうと同時に、新マニュアルにより強化した初期支援メニューを用いて、オーエムへの工務店の加盟募集活動にも着手します。募集計画は初年度 20 社を予定しています。

ハイアスは、これまで土地活用分野ではユニキューブをプロモートし、戸建賃貸分野では最大受注棟数を誇る 1 ブランドのネットワークを構築してまいりました。この取り組みは、個人の所有する不動産資産の価値向上を実現するだけでなく、自然素材の断熱材であるデコスドライ工法の活用により、環境に負担を掛けない良質な賃貸住宅のストック化を図る取り組みでもあります。住宅エコ地盤改良 HySPEED 工法の推進も、同じコンセプトで、環境汚染などによる不動産資産価値の下落を防止したり、CO2 削減などの環境負荷低減の取り組みとなります。

今回は、その取り組みを住宅分野にも広げるため、自然エネルギーで室内環境をコントロールする、省エネ環境共生住宅のオーエムと提携致します。

現在、地球環境危機は全世界共通の深刻なテーマであり、その対策として「持続可能な社会の構築」が急がれています。環境省が昨年 6 月に策定した「21 世紀環境立国戦略」では、持続可能な社会構築の 3 つの要件として「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を挙げています。これらの実現のためには、産業や企業、そして個人レベルでの取り組みが必要不可欠となります。しかし、産業・企業分野へは CO2 削減などの取組みがはじまっておりますが、個人の分野においては取組みの方向性も定まっていないという状況です。そのような中、民生（家庭）における取組み、いわゆる住宅建築やライフスタイルのあり方が非常に重要になり、環境低負荷型の住宅普及が必至になるとハイアスは考えます。

昨年 5 月には、住宅土地調査会長であった福田康夫現首相から発表された『200 年住宅ビジョン』にも太陽光エネルギーの活用や CO2 削減に関して記載があります。加えて、地球温暖化対策に関連した省エネ対策が盛り込まれた「福田ビジョン」も、先日発表されております。

ハイアスでは今後も、省エネ・環境共生住宅の普及を念頭においた展開を進めてまいります。

オーエムソーラーシステムとは

オーエムソーラーシステムは、夏は夏らしく、冬は冬らしく過ごしながら、ほどほどの温かさ、涼しさを得ようという技術です。その特長は、太陽エネルギーを電気に変換して使うのではなく、「太陽の熱をそのまま使う」というものになります。

冬は、屋根に降り注ぐ太陽の熱で空気を温め、それを床下へ送り、基礎コンクリートに熱を蓄えます。蓄えた熱は、夕方以降ゆっくりと放熱して建物全体を床から温めます。春から秋にかけて、太陽の熱を利用して「お湯採り」ができます。「お湯採り」とは、熱い空気がお湯採りコイルの中を循環する不凍液を温め、温まった不凍液を貯湯槽へ循環させて水を温めるしくみです。お湯採りは、地域によって差がありますが、春から秋にかけて 30～50 のお湯が 1 日約 300 リットルとれます。お風呂やシャワーに太陽の熱が使えて経済的です。

オーエムソーラーのしくみ

オーエムソーラーは太陽光発電と異なり、太陽の熱で温めた外気を直接に取り込むことで、暖房と換気を同時に行います。さらに春から秋にかけては太陽熱を給湯にも利用する通年型のソーラーシステムです。



【オーエムソーラーの冬のしくみ】

軒先から外気を取り入れる。
屋根に降り注ぐ太陽の熱で
取り入れた空気を温める。
～ 温めた空気を床下へ送り、
コンクリートに熱を蓄え、
蓄えられた熱で床を温める。

【オーエムソーラーの夏のしくみ】

屋根で温めた空気の熱を利用して、お湯を沸かす。
また、夜間の外気や日陰の外気を取り込みながら換
気を行うことで冷房負荷の低減を図る。

㈱オーエムソーラー協会とは

㈱オーエムソーラー協会は、1987 年より太陽エネルギーを有効利用した建築を通じて持続可能な社会づくりの実現を目指して取り組んでまいりました。家庭における消費エネルギー用途の約 6 割を占める暖房と給湯を太陽エネルギーで賄い、CO2 排出の大幅な削減に貢献しています。現在、環境省では「1 人 1 日 1 kg」の CO2 削減を呼びかけており、この目標を達成すると、1 年間で 1 人 365 kg、4 人家族では 1.46 トンの削減量になります。この数値に対して、オーエムソーラーの家が太陽エネルギーを利用して 1 年間に削減できる CO2 は 2,389 トン。「1 人 1 日 1.6 kg」の CO2 を削減する計算になります。仮に前述の条件で既存住宅 22,000 軒をオーエムソーラーの家に建て替えた試算では、CO2 削減量の合計は約 47,780 トン。この量の CO2 をスギの人工林で吸収するために必要な面積は約 36 km²。これは東京都杉並区全体の面積 (34.02 km²) に相当します。

森林面積の試算は林野庁ホームページを参考

CO2 削減の試算条件、試算方法

- 1 比較する住宅の仕様・条件
 - 一般住宅： 新省エネルギー基準並みの家 (平成 4 年基準)
 - オーエムソーラーの家： 次世代省エネルギー基準 (平成 11 年基準) + オーエムソーラーの家
 - いずれも建築面積 120 m²、4 人家族、24 時間全館暖房 (室温条件 18) を想定
- 2 建築地
 - 東京都 東京 (拡張アメダス気象データ (日本建築学会) 東京を使用)
- 3 試算方法
 - ㈱オーエムソーラー協会 シミュレーションプログラムによる

4 計算結果

1 の仕様・条件において一般住宅が必要とするエネルギー

52,205MJ (暖房 35,989 MJ 給湯 16,216 MJ)

上記エネルギー消費によって発生する CO2 3,539kg-co2 . . . A

1 の仕様・条件においてオーエムソーラーの家が必要とするエネルギー

16,968MJ (暖房 10,286 MJ 給湯 6,682 MJ)

上記エネルギー消費によって発生する CO2 1,150kg-co2 . . . B

A - B = CO2 削減量 3,539 - 1,150 = 2,389

オーエムソーラーの家による CO2 削減量 2,389kg-co2**削減率 67%**

ハイアス・アンド・カンパニー(株) 会社概要

設立:平成 17 年 3 月 資本金 149,000 千円 所在地:東京都港区

事業内容:財産コンサルティング事業、住宅・建設・不動産事業のナレッジ開発、販売促進支援事業など

会社 URL: <http://www.hyas.co.jp>

ハイアス運営サイト

ハッピーリッチアカデミー <http://happyrich.jp/>ハイアークラブ <https://www.hyaa.jp/>リライフバンク <http://www.relifebank.com/>ユニキューブ公式 HP <http://www.unicube.biz/>楽楽館公式 HP <http://www.rakurakukan.jp/>ふどたつ <http://www.fudotatsu.com>

(株)オーエムソーラー協会 会社概要

設立:昭和 62 年 2 月 資本金 490,000 千円 所在地:静岡県浜松市

事業内容:「環境と共生する地域建築の創造と普及を通じて社会に貢献する」という理念のもと、オーエムソーラーシステムなど、環境と共生する建築技術・手法に関する設計、施工のノウハウ提供。設計・施工技術・供給システムを研究開発し、会員工務店に紹介。

環境と共生する建築の高揚と発展にむけての、積極的な海外との共同実験や国際交流の促進

会社 URL: <http://omsolar.jp/>(株)オーエムソーラー協会の沿革

1987 年	オーエムソーラー協会設立
1988 年	「優良省エネルギー建築技術等認定」(住宅・建築省エネルギー機構)交付
1994 年	「ソーラー住宅認定」(建築環境・省エネルギー機構)交付
1995 年	国際太陽エネルギー学会 (ISES)より、奥村昭雄およびオーエム研究所が「クリストファーA・ウィークス賞」受賞
1996 年	木造合理化認定(標準性能・高耐久性性能)取得(フォルクス住宅システムA)
1998 年	環境庁長官賞「地球温暖化防止部門」受賞
2000 年	「環境共生住宅認定」(建築環境・省エネルギー機構)取得(フォルクス住宅システムA)
2001 年	省エネルギー対策等級「年間暖冷房負荷の計算プログラム」の特別評価方法認定を取得
2004 年	「地球のたまご」が「静岡県・第5回しずおか新エネルギー大賞/審査員特別賞」を受賞
2005 年	「地球のたまご」がサステナブル建築賞で審査委員会奨励賞(建築部門)を受賞 「地球のたまご」が、第4回エコビルド賞を受賞
2006 年	2005 年度優秀製品・サービス賞 優秀賞受賞 「地球のたまご」浜松やらまいかブランド認定
2007 年	TOKYO ソーラーシティプロジェクト協賛